

一気にロングで
**鬼石桜山と長瀬宝登山の
 蠟梅**
**花を訪ねて三千里シリーズ第14
 弾**

走行日:2008年2月16日

コース:～鮎川湖～藤岡ふるさと通り～八塩温泉～金丸登山道～桜山蠟梅園～鬼石おまつり広場～大駄中～出牛～国神～長瀬～宝登山～野上～出牛～鬼石～藤岡運動公園～
 距離:76.5km(=19里強) 累計 113里

はんばな距離(35～50キロ)やってないで、長いやるなら70キロ以上、と決意したものなかなか実行できなかった。距離そのものより、時間の問題。超鈍足なので日が暮れる。朝寝坊したらもうアウト。朝も、日が暮れてからもめちゃ寒くていやだし・・・昨日jから、絶対寝坊しないぞ！モードで、無理な早起きは二度寝のもとだから6時半起き7時スタートという設定に。

6時40分、外が明るいのでなんとか起きれた。朝食は簡単に、持ち物も少ないから用意も簡単。ダイソーの100円デイパックがこんなときのお友達。でももう最後の1個だ。廃盤なのでどこにも売ってないし。外に出ると、やはり寒～い。厚手のフリース着た上にウインドブレーカー上下、手袋もフリースの上に使い捨てビニール手袋。これはすぐれもの。ゴム手だと熱を奪われてかえって冷たいがこれは大丈夫、そして風を通さない。なんといっても安い。スタートは7時20分になった。



車の少ない田舎道コースで行く。牛伏山の南のほうの村を通り、畑の中を。店がなく人家も少ないから、知っている地元じゃなかったら心細くなるような道だ。



鮎川湖の脇を通過して、藤岡の「ふるさと通り」で鬼石へ向かう。新しい道で、歩道が整備されて走りやすい。途中未開通区間があるが、脚でなら通行可能。桜山温泉センターの下を通り、八塩温泉を過ぎ、県道に合流。山道は雪が凍ってすべるといやなので、今日は車道。鬼石の街を通り越し、妹ヶ谷への道に入り、大沢から登り道。こちらは南面なので雪もなさそう。車道と分かれて山道に入る。入り口は舗装路だが、



すぐ、樹林の下の山道になる。途中で1度車道に出て、また山道に。今度は丸太階段の急登。



蠟梅園は冬桜の斜面より下の、第2駐車場近くにある。なので、今日は山頂省略。あちこちの蠟梅がもう時期遅れだったけど、どうかな？近づくと良い香り～。きれいに咲いていた。ここのは芯が赤いから和蠟梅だろう。でも、ほかで見た和蠟梅より花びらが丸く色が濃いみたい。



展望も抜群！雪の御荷鉾も見えるし、鬼石の街も見下ろせるし。桜山はお気に入り、春の桜も見にこよう！

下りは車道で。家族と来るとして、車が通れるか確認したかったから。OKだ。下の村はミカン園。風布が北限というが、こっちのほうは北のはず。冬桜のころはちょうどミカン狩りシーズンだけど、今は全部収穫済み。



鬼石の街に戻り、神流川をわたる。さきほどの桜山が見える。カーブの続く道で杉ノ峠へ。平日なので砂利トラックが多い。お昼近くなったので、気温が8℃(道路の表示)に上がり暖かい。



峠を越えて兎玉側を下る。村はずれにいい雰囲気が目立っていた家があったが(「峠の書道館」だったと思う)1月に車で通ったとき丸焼けになっていてびっくりした。今日は跡形もないのでまたびっくり。ちゃんとした持ち主で、放置プレーにできなかったのだろう。

下ってからの道は本庄につながる小山川沿いだ。この県道は山の中なのに意外と店や食堂が

ある。出牛の長瀬分岐は、帰りにそちらを通ることにして、皆野方面に回り道。坂を登って、下りにかかると、正面に武甲山。



満願の湯方面への分岐まで約3キロ下り坂。分岐の角に、首都圏自然歩道の休憩舎があり、今来た道を経由して宝登山へのコースの標識があった。地図には宝登山から北に下りる道は出ていないが、こんど探してみよう。

秩父周辺の山が見えてきた。右手に美ノ山(蓑山)。



正面には人気練習コースの登谷牧場などのある山並み。

国神交差点への途中から、鎌倉街道山つ道のときのコースをとることにした。なんとなく見覚えある看板を曲がると、だんだん思い出した。何か大きな木があったり、ボケ防止の神様があったりしたような。道なりに進むと、大銀杏があった。正解。



もう一つは、ボケ防止の神様ではなく、ぽっくり観音だった。鎌倉街道では、皆野へ出たが今日は反対方向の長瀬へ。国道140号と並行ししばらくは車の来ない静かな旧道がある。



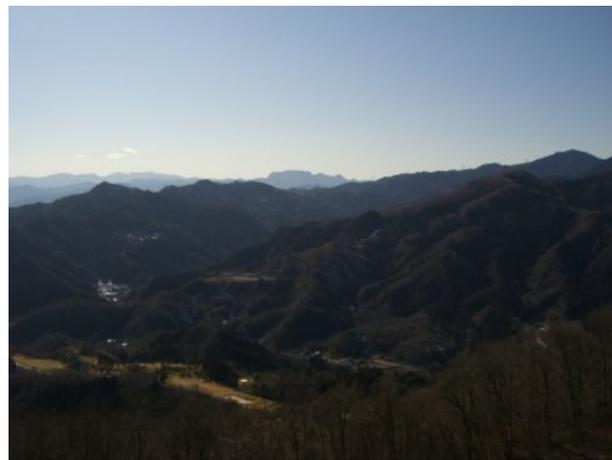
140号に合流し、車が多いのはいやだが、これから行く宝登山が見えてきた。大鳥居から参道に入ると、平日なのに観光客やハイカーがいっぱい。山頂へのハイキングコースは路面はデコボコだけど、車道並みの幅広さ。ハイカーが続々下りてくる。(登りだけロープウェイという人が多いのだろう)



道の横から急に人が出てきた。ハイキングコースを縫って、樹林の中の細い山道もある。ハイカーが勝手に作ったふみ跡か？こちらのほうが山らしいし、近道。登りのときは入り口がちょっと分かりにくいが一度入れば見通しの法則で宝登山神社奥宮近くまでいける。登ったら、北側の展望が開けた。



ロープウェイ山頂駅から蠟梅園が始まる。「素心蠟梅」「満月蠟梅」の札が下がる木があった。素心のほうが花びらが細く、満月の花びらは先が丸いという区別のはずだけど、見比べても違いがはっきりしない。



ちょうど満開、見頃で、大勢の観光客がいた。ここは秩父の続きで人気観光地。地元や近隣の人だけでなく、東京周辺からも押しかけてくる。

蠟梅園からの展望がまたすばらしい。近く of 山の背後に両神山。



眼下に秩父の町が広がる。バックは武甲山。蠟梅の下を散策する人がひっきりなしに行きかう。あまり風がなく、南面の陽だまりで暖かい。



蠟梅園に隣接した梅百花園では、紅梅、白梅が咲き始めたところ。山麓は桜並木だし、順番に楽しめる。



暗くなる前になるべく距離を稼ぎたいのでさっさと宝登山神社境内に下山。参道に天然氷のおいしいカキ氷屋、阿左美冷蔵があって、冬なのに客が入っていた。懸案なのだが、これから寒くなる時間なのでやめといた。

国道を極力避け、裏道を通る。



出牛に向かって上り坂。てっぺんで間瀬峠からの林道が合流。通行止めの看板があり、ここも台風で？と思ったら路面凍結のためだった。

往路の道で鬼石に戻った。鎌倉街道ジャーニーのときみんなで泊まったあの斎藤旅館(某ベテランウルトラランナーWホイさんの親戚)今も健在です！

暗くなる前に鬼石まで戻れてよかった。ここまでトラック多くてが危ないからね。ついでに、「ふるさと通り」未開通区間もダートだから暗くなる前にクリアしたい。なんとか間に合った。真っ暗になってからは本庄方面、高崎方面の夜景がきれいだった。

今日の走行距離76.5キロ。明日も続けてそれくらい走ると良い練習になるが、残念ながら明日はヒマじゃない。助かった。

[からっ風にふかれてぶーらぶらTOPへ](#) [花を訪ねて三千里TOPへ](#) [からっ風の丘からHOME](#)

[旅がらすの乱RUN欄8年2月へ](#)